

<インターンシップレポート>

奨学生からのメッセージ No.2

埼玉大学3年 渡邊将平

1日目：オリエンテーション

会社概要説明

講話（事業戦略、マーケティング、営業、ブライダル）

ホテルサービス・マナー研修

1日目の振り返り

2日目：講話（宿泊、料飲）

ベッドメイキング体験

2日目の振り返り

3日目：品川エリアのアミューズメント施設地を視察

高輪エリアのホテル・宴会場等を視察

グループワーク

4日目：グループワーク（終日）

5日目：グループワーク（プレゼンテーション準備・練習）

グループプレゼンテーション

最優秀グループの表彰

・インターンシップを経験した感想

ベッドメイキング体験を通して、お客さまに快適なお部屋を提供するためには、「お客さまをもてなす」という心づかいに加え、長年の経験に裏打ちされた技術が必要であるということを知りました。

簡単そうに見えたベッドメイキングも、実際にやってみると、美しく、そして素早く仕上げるのは難しく感じ、ベッドメイキングをしてらっしゃる方々の技術力の高さにとても驚かされました。

また、グループワークにおいては、今後集客・売上増を図る新たな戦略を立案していく中で、グループのメンバーそれぞれの考えが少しずつ1つになっていく過程に感動を覚えました。

ひとりひとりの考えが全く異なる中で、施設見学の印象や国の政策などの情報も頼りにしながら、お互いに知恵を出し合い、アイデアを比較検討しながら、考えを形にしていくのは非常にやりがいがあり、有意義でした。

・得られた成果

講話を通して、プリンスホテルの業務全般の概要を理解し、その後のベッドメイキング体験において実際の業務に触れ、施設見学により実際に目で見えた印象を基に、新規事業戦略を立案するという流れを

一通り体験させていただきました。

新規事業戦略立案という、一見するととても壮大に見えるようなものであっても、しっかりと仕事に必要な知識を頭に入れ、見学・視察等を通じて自分の足で動き、見聞きすることは大切であり、その結果が形になるということを知れたことが今回のインターンシップの成果です。

また、ホテル業の根底にある「おもてなしの心」を5日間肌で感じることができ、より一層ホテル業への関心を高めることが出来ました。

・今後の課題、目標

グループで力を出し合い、結果を出すことの難しさを痛感しました。グループとして作り上げた考えを的確に発表し伝えることは容易ではないと感じました。

グループワークにおいて、私は主に全体のまとめ役にばかり回ってしまい、リーダーシップを発揮できませんでした。

限られた時間の中でどのように進めていけばうまくいくかという段取りや、グループとして最善のパフォーマンスを出すための、グループ内における自分の立ち位置をもっと強く意識していきたいと思えます。

また、今回のグループワークにおいて、知識・判断力不足を感じるが多かったので、日頃から様々なことを学び、考えることを習慣にしていきたいと思えます。